

まちの話題

中国と神埼市の中学生の交流

8月20日から23日、中国山西省山西大学附属中学校の学校関係者、生徒ら12人の訪日団が神埼市を訪れました。

交流のきっかけは、平成元年に中国山西省から旧脊振村にスポン養殖の勉強にこられた



▲神埼市役所へ表敬訪問

方たちが、脊振中学校で漢詩の学習の手伝いをされたことからです。

脊振中学校と山西大学附属中学校は、姉妹校の交流として昨年は、脊振中学校の生徒が中国を訪ねています。

今回の訪日は、神埼市となつて初めてのことで、市長を表敬訪問した後、学校間交流として市内の各中学校を訪問し、各校の特色を十分活かしたさまざまな体験を通し生徒間の交流が深められました。



▲中学校での交流

また、吉野ヶ里歴史公園、ヤクルト本社佐賀工場、佐賀城本丸歴史館などを見学し、日本と中国の関わり、日本の歴史・文化についても熱心に学習されました。

新宿チーム頂点に！ ～神埼市軟式野球大会～

8月19日、21日から23日、第1回神埼市軟式野球大会（神埼市体育協会主催）が行われ、新宿地区（千代田町）が優勝しました。

市内から26地区（千代田町21地区、神埼町5地区）、約420人が参加し、熱戦を繰り広げました。

甲子園で優勝し、全国制覇を達成した佐賀北高校に負けない攻守に光る選手のプレーや地区応援団からの声援で大会は盛り上がりしました。

○準決勝の結果

大島5―2小森田

新宿6―5的

○決勝の結果 新宿4―2大島



▲優勝した新宿チーム

大人と子どものふれあいを～真夏のコンサート～

8月25日、東山公民館（神埼町東山）で、プロの演奏家の協力によるインディアンハーブ（アルパ）のコンサートが行われました。

このコンサートは、青少年育成の一環として「子どもたちに本物に触れてほしい」と子どもクラブ・集落主催で行われ、東山・下志波屋地区の子どもから大人までの50人が参加しました。

演奏者は、志賀昭裕さん。日本でただ一人の男性インディアンハーブのプロ奏者として活躍されています。

演奏終了後は、楽器に触れた

次郎の生き方を学ぶ

～「次郎物語」読書会～

8月21日から24日の4日間、下村湖人家（千代田町崎村）で、第10回「次郎物語」読書会（下村湖人家保存会主催）が行われました。

市内外から多くの小学生が参加し、「次郎物語」の映画鑑賞や「次郎物語」を読み、次郎の生き方を学びました。



り記念撮影したりと楽しいひと時を過ごしました。

夏休みの練習成果を発揮 ～水泳大会～

8月25日、第32回神埼町水泳大会（神埼町子どもクラブ連絡協議会主催）が、西郷小学校のプールで行われました。

神埼町内8地区から30人の小学生がエントリーし、個人戦と団体戦が行われました。

猛暑が続く中、一生懸命練習した成果を発揮しました。子どもたちの夏休み最後のよい思い出となりました。

成績は次のとおりです。

◎個人戦

（敬称略）

○1・2年の部

- 優勝 堤 千種（神埼小）
- 準優勝 石井 大輝（神埼小）
- 第3位 東 宏錦（神埼小）

○3年の部

- 優勝 朝日 奏（神埼小）
- 準優勝 吉岡菜々子（神埼小）
- 第3位 松本侑里香（仁比山小）

○4年の部

- 優勝 堤 千紘（神埼小）
- 準優勝 大久保悠太（仁比山小）
- 第3位 田中 翔生（神埼小）

○5年の部

- 優勝 仁井 潤弥（西郷小）
- 準優勝 亀川 大樹（仁比山小）
- 第3位 宮地 達也（仁比山小）

○6年の部

- 優勝 小塚英里渚（仁比山小）
- 準優勝 田中 大樹（神埼小）
- 第3位 野口 奨吾（神埼小）



▲団体戦、リレーの様子

◎団体戦

○低学年の部

- 優勝 小淵・石井ケ里
- 準優勝 本堀・犬の目
- 第3位 石井ケ里

○高学年の部

- 優勝 右原
- 準優勝 右原・小淵
- 第3位 本堀・西小津ケ里
- 第4位 小津ケ里



▲小津ケ里子どもクラブ

友情を深める

子どもクラブ球技大会

8月19日、キックベースボール（男子）、ミニバレーボール（女子）の球技大会（神埼市子どもクラブ連絡協議会主催）が行われました。

（男子）脊振小学校グラウンド（女子）脊振勤労者体育館

キックベースボール、ミニバレーボールにそれぞれ4チームの各地区代表が出場し、男子は小津ケ里（神埼町）、女子は右原（神埼町）が優勝しました。

子どもたちの元気なプレーに会場はとても盛り上がりました。

優勝チームは、神埼市代表として、8月26日に唐津市で行われた佐賀県大会（県子どもクラブ主催）に出場し、健闘しました。



▲右原子どもクラブ

自然環境を観察

カヌーなどで河川に親しむ

8月28日、中地江川（千代田西部小く浜水門）で、41人（小学生18人）が参加し、アサザ観察会がありました。

最初に井上英幸さん（佐賀県植物友の会会長）の説明の後、城原川エンジョイクラブ

の指導により、カヌーやカヤックに乗り込み、河川内からの自然観察を体験しました。

はじめてカヌーなどに乗る子どもたちもいましたが、すぐに慣れ、川と親しんでいました。

また、ボランティアの協力により中地江川のごみの除去作業も実施され、きれいな川になりました。



同実行委員会は、原の町子育て協議会、郷土と自然に親しむ会、城原川エンジョイクラブ、神埼市、神埼市教育委員会、神埼土木事務所などが協働で取り組んでいます。

「千代田アサザ保存会」

平成18年6月に中地江川などに生育・生息する「アサザ」や水辺の植物の生育環境を地域の人たちと保存するため設立されました。

この活動を行う中で、地域環境と健全な子育て支援を年間通して取り組まれています。

千代田アサザ保存会への入会希望の方、関心ある方は、下記までご連絡ください。
（連絡先）藤永（E-mail fujinaga@mocha.ocn.ne.jp ☎44-2087）

九州大会で銅賞

〜神埼小学校金管バンド〜

8月25日、長崎県諫早市文化会館で開催された「九州吹奏楽音楽コンクール」で、神埼小学校金管バンドが、銅賞を受賞しました。

神埼小金管バンドは、7月16日に開催された佐賀県大会で、見事金賞を受賞し、県代表として九州大会に出場しました。

3年生以上26人のメンバーは、酷暑の中、夏休み返上で担当教師の指導や保護者の支援と期待を受け、猛練習をして、九州大会に臨みました。



▶九州各県のすばらしい演奏を聴くことができ、より高い目標を得ることができました。

子どもたちによる狂言

〜地域で守る伝統〜

子どもたちによる狂言が始まったのは、千代田中部小学校の子どもたちが「高志狂言を習ってみたい」との夢を実現させるために、佐賀県の「子ども

の夢かなえたい事業」に応募し、事業採択された7年前からです。

その後毎年、高志狂言保存会（古賀安行会長）の皆さんの指導により、子どもたちによる「高志狂言」が伝承されています。

今年も、8人の子どもが応募し、子ども狂言クラブのメンバーが決定されました。

子どもたちは、夏休みの酷暑の中、高志狂言保存会の指導を受け、毎日2時間の練習に励みました。



○高志狂言の奉納

毎年、10月12日、高志神社の秋の収穫祭にて、高志狂言が奉納されます。

今年も高志狂言保存会と千代田中部小子ども狂言クラブがそれぞれ奉納されます。

なお、子どもたちが演じるのは、「附子」。(高志地区では、「部須」と伝わっています。)

子どもたちによる公演は、高志神社の奉納のほか、文化祭などで行われます。

市民の皆さん、一度はご鑑賞ください。

「高志狂言」

高志狂言は、高志地区に200年以上伝承されてきた驚流の流れをくむ狂言(佐賀県重要無形民俗文化財)です。

「高志狂言保存会」

高志狂言保存会は、昭和49年に発足し、メンバーは高齢となつていますが、今も元気で活躍されています。

若い経営者の主張

〜仲間との絆を大切に〜

第38回若い経営者の主張佐賀県大会(7月2〜3日、唐津市)で、三神地区代表として鶴忠洋さん(神埼町)が出場し、3位の成績を収められました。

地区予選を突破した11人が出場し、まちづくりや地域振興など商工会青年部の活動の取り組みの成果を紹介しました。

鶴さんは、20年前に神埼町商工会青年部が地元で根ざした活動を行おうと「よみがえれ日の限」を合言葉に公園周辺に桜を植樹したことや、「要介護状態になつても住み慣れた地域環境の中で自分らしく生きてほしい」と神崎市初の民間デイサービスセンター「すずらん」を立

ち上げ、その桜を見にデイサービスでお年寄りを連れて行ったことなどを発表されています。「市の商工会青年部も合併し、それぞれの歴史を継承し新たな仲間たちと手をつなぎ地域に貢献し続けたい」と抱負を語られました。

カラオケ愛好会より寄付

9月2日、千代田町文化会館「はんぎーホール」で行われた第10回チャリティカラオケ大会(サイドBカラオケ愛好会主催)で、出演者、来場者から集まった寄付金を同愛好会(江口孔一会長)より神崎市へ寄付していただきました。

ありがとうございます。



中学生の熱い戦い〜九州大会・全国大会〜

◆九州大会結果

(敬称略)

種目	出場チーム・個人		結果
体操	神埼中男子	池尻俊哉	個人総合2位 (種目別：鉄棒1位、あん馬1位、床2位、跳馬6位)
新体操	神埼中男子	団体	優勝
		島 太一	個人総合1位 (種目別：スティック1位、クラブ3位)
	田原正樹	個人総合3位 (種目別：スティック4位、クラブ1位)	
	神埼中女子	団体	9位
ハンドボール	神埼中男子		1回戦敗退
	神埼中女子		ベスト8
バスケットボール	神埼中男子		1回戦敗退
剣道	神埼中女子	団体	第3位
陸上	神埼中男子	大塚拓哉	砲丸投げ15位
		宮地利宗	走り高跳び7位
		山口聡太	低学年100mハードル11位
ソフトボール	千代田中女子		2回戦敗退



今年の夏は、全国高校総合体育大会が佐賀県で開催され、神埼市をはじめ県内の各会場が熱気に包まれました。
中学生の大会である中学校総合体育大会では、地区大会を勝ち抜いた代表による県大会が7月に行われました。
県内予選を突破した代表(個人、団体)は、8月に行われた九州大会・全国大会に出場し、日頃の練習の成果を発揮しました。



◆全国大会結果

(敬称略)

種目	出場チーム・個人		結果
体操	神埼中男子	池尻俊哉	個人総合14位 (種目別：床4位)
剣道	神埼中女子	団体	ベスト8

はじめまして!!新ALTです。



▲ハイディさん
(神埼中学校)

二学期より神埼中学校、千代田中学校に、新しく外国人英語指導助手(A.L.T.)が赴任しました。
親しみやすく、生徒・児童との交流に意欲的な2人に自己紹介をしていただきました。



▲エドワードさん
(千代田中学校)

私の名前はエドワード・ワソングです。1975年生まれの31歳です。ケニアのヴィクトリア湖近くの赤道にあるキスム市出身です。
ケニアは自然豊かで、ライオンやキリンなどの動物を間近で見ることが出来ます。ケニアの国語はスワヒリ語ですが、多くの部族が住んでいるので、公用語として英語を使います。

こんにちは。私の名前はハイディ・プライスです。イギリス出身ですが、香港やシンガポールにも住んだことがあります。
イギリスでは、小学校の教師を4年間勤めました。
趣味はダンスと走ることです。神埼中を走ってみたいです。
今回の日本への訪問は私にとって初めてのことです。
神埼中学校で、先生方と一緒に働いたり、生徒と交流できるので、とてもワクワクしています。日本語も勉強していきたいと思っています。
よろしくお願ひします。

佐賀に住んで4年になります。が、人々が温かく大好きです。ぜひ地域に貢献したいと思いALTになりました。
がんばりますので、どうぞよろしくお願ひします。

青少年だより 神崎市青少年育成市民会議

脊振も参加、地域の心が一つに 地区懇談会

神崎市青少年育成市民会議では、第2回地区懇談会を7月9日・10日・11日に開催しました。

地区の役員、市民会議役員、学校、地区の皆さんのご協力をいただき、熱心な話し合いがされて、有意義な懇談会となったことをお礼申し上げます。

今回の懇談会では、次の4つの柱で話し合いを行いました。

- 柱1 地区の重点実践目標の反省
- 柱2 『神崎市子ども安全安心まちづくりアピール宣言』に基づく取り組み
- 柱3 子どもたちの様子・地域活動の活性化
- 柱4 今年度の地区の重点実践目標

1 地区の重点実践目標の反省

○あいさつ運動・声かけ運動

- ・小・中学生ともにあいさつがよくできるようになってきた。
- ・小・中学生ともにあいさつの声が低い。恥ずかしがっているようだ。
- ・登校時は元気にあいさつしているが、下校時はできていない。
- ・高校生も声をかけたら笑顔であいさつを返す。自分からあいさつをする高校生もいる。
- ・地区の上級生がよくするので、下級生もそれを見習っている。
- ・大人から声をかけるように心がけている。
- ・声かけをした時、子どもたちは警戒している。顔見知りでないとき心配なようだ。
- ・あいさつは家庭のしつけが一番である。親が率先してあいさつをすべきだ。



- ・朝のあいさつだけでなく、普段のあいさつも大切にしたい。
- ・老人クラブもよく声かけに協力してくださっている。

○ゴミ・ノーポイ運動

- ・地区ではほとんどごみはないが、田んぼに空き缶などが捨ててある。
- ・子どもはごみを捨てていないが、大人が捨てている。
- ・クリーン作戦では、子どもたちが意欲的に取り組んだ。

○町や地区の行事への積極的参加

- ・子どもが減って、参加する人が少なかった。
- ・大人も子どももよく参加してくれた。

○親子花いっぱい運動、地域と子どものふれあい運動

- ・街路のプランターに子どもクラブや老人クラブで花を植えて育てた。

○地域ぐるみでの子育て

- ・子どもが少ないがよくなった。

○基本的な生活習慣

- ・子どもたちは部活動で忙しいし、テレビやゲームで不規則な生活になりやすいので、子どもと接する機会を多く持つて、躰をしっかりとすべきである。

○大人と子どもたちとの交流

- ・焼肉会・将棋などでふれあい交流ができた。

○食育の啓発

- ・朝食を必ずとることは大体できた。

○危険箇所の点検及び解消

- ・交通標識・安全ミラー・防犯灯を設置した。

○子どもが明るく元気に育つ地域づくり

- ・水の事故なし。
- ・子どもクラブで水環境調査を実施した。



▲駅通り地区懇談会の様子

2 『神崎市子ども安全安心まちづくりアピール宣言』に基づく取り組み

○一戸一灯運動 (16地区)

○あいさつ・声かけ運動 (42地区)

○見守り隊を編成し見守る。 (25地区)

○買い物や農作業などをする時に、気を付けて見守る。(17地区)

○『一一〇番の家』の増設 (3地区)

○『子育て五か条』に取り組み (2地区)

3 子どもたちの様子 地域活動の活性化

○ラジオ体操

- ・ラジオ体操の日数が少ない。
- ・もう少し増やしてはどうか。
- ・大人も多く参加してほしい。
- ・中学生の参加がない。ラジオ体操の後でも部活には間に合うので、参加してほしい。
- ・参加する子どもは多いがただらしている。大人が参加して、活気を出させたい。
- ・子どもの出席率が高い。老人会や幼児も含めて盛り上げよう。ふれあいの場ともなる。
- ・上級生が前に出て手本となってくれるので、よくできている。



○子どもクラブの活動

それぞれの地区で子どもたちのために多種多様な活動が活発

に行われ、地域の皆さんのおかげで、素直で優しい子どもたちが育っている。

○子どもたちの現状と改善点

- ・子どもの数が少なくなり、地区の行事や子どもクラブの活動が困難な状況にある。
- ・並進、斜め横断、携帯電話しながらの運転など、自転車運転のマナーが悪い。(中・高校生)
- ・上級生、下級生関係なく広場でよく遊んでいる。
- ・地区の行事に子どもも参加させ、よりよい人間関係作りをして、地区の子どもに対する見守りの意識を強化したい。
- ・集団に属して活動しようという意識が薄い。(習い事や家庭の都合を優先させる)
- ・登校の態度が悪い。(道いっばいに広がる、人の家の庭に入る、物をけりながら行く。)
- ・言葉遣いが悪い。(人を傷つけることを言う。)



4 今年度の地区の重点実践目標

- ・子どもたちの外遊びが少ない。
- ・ノーテレビデーがなかなかできていない。
- ・地域での清掃活動をもっと活発にさせたい。
- ・明るい子どもが多い。上級生が下級生の面倒をみている。
- ・子どもたちに上下の関係がない。縦の関係の指導が必要。
- ・県下一斉美化活動に、小学生がほとんど参加していた。
- ・早寝早起きを家庭ですつける必要がある。
- ・外で遊ぶときもゲームをしている子どもがいる。
- ・遅い時間まで遊んでいる。自転車ですくまで出かけている。
- ・子どもたちの遊び場がない。検討していきたい。

○あいさつ・声かけ運動

(90地区)

○ノーテレビデーの実施

(8地区)

○見守り隊の取り組み(7地区)

(7地区)

○交通安全、交通ルールを守る

(6地区)

○子どもを守る

(11地区)

○子どもとのふれあいを持つ

(9地区)

○子どもに手伝いをさせる。

(2地区)

○帰宅時間を守らせる

(2地区)

○地域の環境美化、ゴミ・ノーポイ運動

(3地区)

○一戸一灯運動

(3地区)

○地域の行事に積極的に参加させる

(1地区)

○早寝、早起き、朝ごはん

(4地区)

○親子のふれあいの時間を持つ

(1地区)

○花いっぱい運動

(1地区)

○危険物・危険箇所の点検、草刈

(2地区)

○進んで会話をし、子ども達をほめよう

(1地区)

○子どもの自立を促す活動をする

(1地区)

○奉仕活動の充実

(1地区)

○子どもが安心して遊べる環境づくり

(1地区)

○子どもが積極的に参加する行事

(1地区)



地区懇談会を終えて

今年度の懇談会は脊振町でも行われました。昨年度に比べて改善された点、課題が残った点は次のとおりです。

○改善点

- ・事前に自作のチラシを配ったり、独自の資料を用意したり、熱心に取り組まれる地区があった。
- ・地区の役員の方の熱心な呼びかけで、参加者が増えた地区があった。
- ・ラジオ体操や子どもクラブの活動で、前向きな意見が多く出ていた。
- ・地区の子どもたちをしつかり守り、温かく育てていく気運が盛り上がってきた。
- ・今年度の地区の実践目標が2つ、3つと増えた地区が多くなった。

△課題

- ・各小中学校のPTAの役員会に向いて、懇談会への参加をお願いしたが、効果あまり見られなかった。
- ・参加者が減った地区があった。